



- ・グスコブドリが
教えてくれたこと
- ・あなたのページ
- ・作新祭で古本市
- ・らいぶ Question
- ・開館カレンダー

グスコブドリが教えてくれたこと

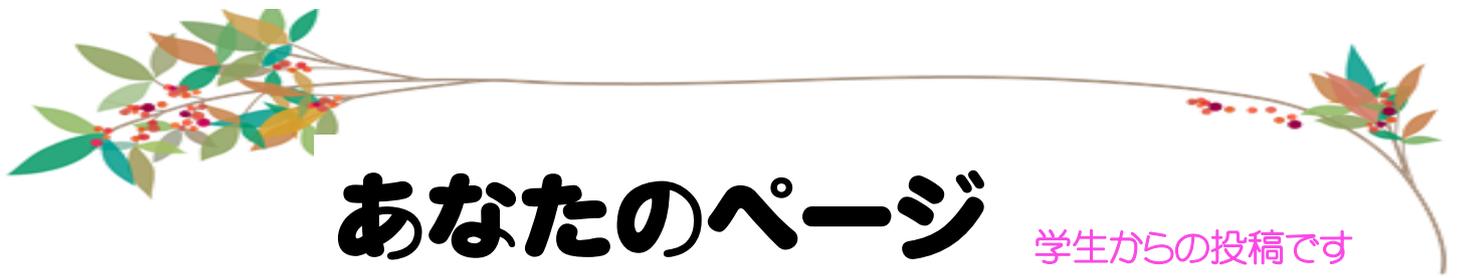
作新学院大学女子短期大学部 教授 坪井 真

私が通っていた大学は、実学を重視する教育方針でした。一般的に実学は「実際に役立つことを学ぶ」という意味です。確かに私が学んだ講義・実験・実習などは専門分野(農業)の発展に寄与する学問であったとおもいます。しかし、大学の授業で学ぶことだけが実学なのだろうかと考えるようになりました。そのきっかけは、大学の夏休みに取り組んだ自主実習の経験です。

農業を営みながら福祉実践に取り組む人たちとの出会いをとおして、私は実学について再考しました。そして、小学生の頃から愛読していた宮沢賢治の『グスコブドリの伝記』に答えを見出したのです。

『グスコブドリの伝記』は、当時の東北地方(特に岩手県)で暮らす人たちの厳しい生活環境を前提とした物語です。自主実習の後に再読した私は、様々な困難に向き合う主人公の生き方や誠実に取り組む姿勢、そして自らの学びと経験を他者のために役立てる行動こそ実学の本質ではないかという宮沢賢治のメッセージに気づきました。

つまり、実学とは「実際の生活体験から学ぶこと」であり、「人びとに役立つ実践のための学び」であると主人公のグスコブドリは教えてくれたのです。



あなたのページ

学生からの投稿です

大学生活を振り返って

人間文化学部 4年 中山由稀

4年間の大学生活を振り返ってみて、よかったことが3つあります。

1つ目は、大学の図書館でアルバイトをしたことです。仕事内容は、本の貸出や返却、雑誌や他大学で発行された論文集を棚に並べるといったことでした。作業をしているとき、私は思わず本や雑誌、論文集に目を留めました。なぜなら、授業に関係したものが多くあったからです。私は、アルバイトが入っていない時間も図書館に通って、積極的に情報収集をしました。図書館でアルバイトをしなければ、これらの本には出会えませんでした。

2つ目は、心理学を学べたことです。作新学院大学では、心理学の授業が数多く開講されています。私は、いじめや不登校は心の問題とどう関わっているのかに興味がありました。授業で学び、レポートを書いたり人前で発表したりすることにより、その内容を深く捉えることができました。

3つ目は、年上の友人に出会えたことです。ある授業で私は、年上の学生と知り合いました。その人は、一般企業で働いていた経験から、会社員としての心構えや上司との接し方、また他人に気持ちを伝えるときのコツなどを教えてくれました。同年代の友人とは違う視点で話してくれるので、私にはとても大切な存在です。卒業し就職しても、私は大学生活で学んだことを忘れず、日々精進していきたいです。また、人やモノとの出会いを大切にし、過ごしていきたいです。



❀作大の秋❀

作新祭で古本市

11月11日(土)に作新祭が行なわれ、図書館ではチャリティー古本市を開催しました



秋の日差しが柔らかいアトリウムには、本好きのお客様が
たくさん訪れて、温かな雰囲気になりました



皆さまのご厚意により ¥15,000 が集まりました
このお金は 公益財団法人下野奨学会 を通して
寄付いたします



らび Question

憲法サバイバル

ちくま新書編集部 編 080/Ch/1250 より

日本は戦後七〇年を憲法という基盤のうえで(①)まいりました。社会、経済、政治、科学、医学、教育、(②)、芸術、文学、等々、そして暮らしのディテールまでさまざまな要素から成り立つ「日本のかたち」をつくってきたのです。私たちは「改憲」に賛成・反対を唱える前に立ち止まり、「日本のいま」は憲法の枠組みのなかでどうつくられ、「日本のこれから」はどうなるのかを(③)なければなりません。

図書館にある資料から出題します。答えはカウンターにある解答用紙に記入してください。

全問正解で1ポイントです。今年度中に5ポイント集めた方には、記念品を贈呈します。

開館カレンダー 2017

11月

12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

 午前9:00～午後6:00

 午前9:00～午後5:00

 午前9:00～午後1:30

 休館日

~~~~~ 発行・編集 ~~~~~  
作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 図書館  
Tel 028-670-3651・3652  
Fax 028-670-3619  
E-mail [tosyo@sakushin-u.ac.jp](mailto:tosyo@sakushin-u.ac.jp)  
URL <http://www.sakushin-u.ac.jp/library/>

